

## 小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成22年2月25日(木) 午後7時00分～午後7時35分  
場所 小田原市役所 601会議室

### 2 出席した教育委員の氏名

- 1番委員 山田浩子  
2番委員 前田輝男 (教育長)  
3番委員 桑原妙子 (教育委員長職務代理者)  
4番委員 和田重宏 (教育委員長)  
5番委員 山口潤

### 3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

学校教育部長	木目田 和 義
生涯学習部長	和 田 豊
生涯学習部次長・生涯学習政策課長事務取扱	桐 生 薫
文化財統括担当参事兼生涯学習部文化財課長	塚 田 順 正
教育総務課長	曾 我 勉
施設担当課長	木 内 隆 行
学校教育課長	伊 澤 秀 一
教職員担当課長	西 村 泰 和
教育指導課長	柳 下 正 祐
生涯学習センター担当課長	高 橋 幸 男
青少年課長	瀬 戸 伸 仁
スポーツ課長	荻 谷 一 義
図書館長	森 徳 行
教育指導課長補佐兼指導主事	栗 畑 寿 一 朗
教育研究所長	小 泉 信 二
教育指導課主幹・指導主事	石 井 美 佐 子

(事務局)

教育総務課長補佐・総務担当主査事務取扱 座 間 亮  
教育総務課上級主査 瀬 戸 英 樹

#### 4 議事日程

- 日程第1 報告第1号 事務の臨時代理の報告（平成21年度3月補正予算）について（教育総務課、学校教育課、教育指導課、生涯学習政策課、文化財課）
- 日程第2 報告第2号 事務の臨時代理の報告（平成22年度当初予算）について（学校教育部、生涯学習部）
- 日程第3 議案第2号 平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について（教育指導課）

#### 5 報告事項

- (1) 平成22年度学校教育のねらいと基本方針について（教育指導課）

#### 6 議事等の概要

- (1) 委員長開会宣言
- (2) 会議録署名委員の決定…山田委員、桑原委員に決定
- (3) 日程第1 報告第1号 事務の臨時代理の報告（平成21年度3月補正予算）について（教育総務課、学校教育課、教育指導課、生涯学習政策課、文化財課）
- 日程第2 報告第2号 事務の臨時代理の報告（平成22年度当初予算）について（学校教育部、生涯学習部）

提案理由説明…教育長、教育総務課長、生涯学習部次長

前田教育長…それでは、報告第1号及び報告第2号の2件の「事務の臨時代理の報告について」を御説明申し上げます。市議会3月定例会に係る教育委員会関係の補正予算案及び平成22年度当初予算について、市長に対し意見の申し出をいたしました。これは、小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第14号に基づく当会議の付議事項であります。急施

を要し、会議を開くことができませんでしたので、同規則第4条第1項の規定により、事務を臨時に代理させていただきました。ついては、同条第2項の規定により、御報告するものでございます。細部につきましては、所管課から御説明申し上げます。

教育総務課長…それでは、私から「報告第1号 事務の臨時代理の報告（平成21年度3月補正予算）について」のうち、学校教育部所管の補正予算について、ご説明申し上げます。平成21年度3月補正予算概要をご覧ください。この3月補正予算は、1月定例会の協議事項で主な概要についてご説明させていただいておりますので、事業内容等の詳細の説明は省略させていただきますが、金額等が確定いたしましたので、一覧表として取りまとめをさせていただきます。歳入、歳出、繰越明許費補正という項目になっております。また、4ページには校舎リニューアル事業の千代小学校校舎北棟整備事業の配置図を掲載いたしました。この事業は、狭あいな校舎などの解消を図るため、多目的教室等からなる北棟を整備（増築）しようとするもので、国の平成21年度第1次補正予算対象事業として、義務教育施設整備費負担金及び義務教育施設整備事業債を財源として、全額を22年度に繰り越して執行いたしますのでございます。学校教育部所管の補正予算についての説明は以上です。

生涯学習部次長…続きまして、私から「平成21年度3月補正予算」のうち生涯学習部所管に関する事項について御説明申し上げます。まず、歳入予算についてご説明申し上げますので、恐れ入りますが、資料の1ページをご覧くださいと存じます。初めに中程の（項）国庫補助金（目）地域活性化・きめ細かな臨時交付金ですが、学校教育部と同様、国の第2次補正予算で創設された緊急経済対策のための臨時交付金について、生涯学習施設の改修等に対しても交付されることになりましたので、新たに追加計上いたしましたものです。また、最下欄の（項）市債、（目）教育債の史跡整備事業債につきましては、借入予定額の変更に伴い、増額分を計上いたしましたものでございます。次に、歳出予算についてご説明申し上げますので、恐れ入りますが、資料の2ページをご覧くださいと存じます。最下欄の（項）社会教育費、（目）社会教育総務費の生涯学習施設改修事業費でございますが、

歳入に計上しました国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を活用して実施するものでございます。主な改修の内容でございますが、まず、生涯学習センター本館けやき、国府津学習館、豊川分館にかかる空調設備、消防設備、外壁塗装などの改修を行います。また、松永記念館の正面門扉や本館2階のベランダ手摺り、老樗荘の土塀などの改修を行うものです。また、尊徳記念館につきましては、照明制御設備の改修、あるいはかもめ図書館においては、防災設備などの改修工事を行うこととしたもので、主に施設・設備の安全面等を考慮して必要な経費を計上いたしましたものでございます。なお、様々な生涯学習施設の改修経費であるとともに、臨時交付金対象事業として明確になるよう社会教育総務費で一括して計上しております。次に、繰越明許費補正についてご説明申し上げますので、恐れ入りますが、資料3ページをご覧くださいと存じます。最下欄にございます生涯学習施設改修事業ですが、ただ今、歳出でご説明いたしました臨時交付金対象の改修事業が補正予算成立後の執行となり、年度内に終了しないことから国の予算措置と同様に事業費全額を繰り越すものでございます。以上をもちまして報告第1号 事務の臨時代理の報告（平成21年度3月補正予算）についての説明を終わらせていただきます。

教育総務課長…続きまして、私から「報告第2号 事務の臨時代理の報告（平成22年度当初予算）について」をご説明申し上げます。まず、小田原市全体の予算の概要についてご説明いたします。非常に厳しい財政状況の中、「新しい小田原」の実現、戦略的資源配分の徹底、確かな未来への投資、事業構造の抜本的見直し、小田原市の予算の基本方針となっております。また、持続可能な地域社会の立ち上がりに向け、「いのちを大切にす小田原」「希望と活力あふれる小田原」「市民が主役の小田原」の市政の3つの柱を基本に予算付けをしております。一般会計では、総額で575億円となり、前年度比較で21億円増額になっておりますが、子ども手当を除くと実際にはマイナス0.47%となります。予算全体では、1340億5448万6000円、前年度比較で約23億円の増額で対前年度伸率は1.75%増となっております。それでは、教育費についてご説明いたしますので、資料の平成22年度当初予算要求概要（教育費関係）の次のページの教育

費予算総括表をご覧ください。左下端に「総合計」の金額がございますが、50億2117万6000円を計上いたしました。平成21年度予算に比べ8億684万9千円の減額、率にして13.8%の減となっておりますが、これは、平成21年度をもって学校施設の耐震補強工事が終了したこと、また、千代小学校校舎リニューアル工事及び小学校・生涯学習施設の改修工事につきまして、国の平成21年度第2次補正予算を活用するため、21年3月補正予算に予算計上したことによるものです。各項目の主な事業の内容につきましては、次のページの予算書のとおりですが、こちらも1月定例会の協議事項で主な概要についてご説明させていただいておりますので、事業内容等の詳細の説明は省略させていただきます。以上で、報告第1号及び報告第2号の「事務の臨時代理の報告について」の説明を終わらせていただきます。

(質疑・意見等なし)

(4) 日程第3 議案第2号 平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について (教育指導課)

提案理由説明…教育長、教育指導課長

前田教育長…それでは、議案第2号「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について」御説明申し上げます。全国的な子どもの体力の状況を把握するため、文部科学省が同調査を行い、本市も参加したところですが、本市にかかる調査結果の取り扱いについて、お諮りするものです。細部につきましては、所管から御説明申し上げます。

教育指導課長…本日は、「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の取扱いについて、お諮りするものであります。まずは、本調査について、簡単に説明いたします。資料の文部科学省と書かれている「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」をご覧ください。この資料はすでに文部科学省のホームページに掲載されているものを一部抜粋したものです。資料の⑤ページに、調査の目的が記載されておりますが、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、国、教育委員会・学

校が子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校が各児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。ことを調査目的として、小学校5学年と中学校2学年を対象に平成20年度から実施しております。調査内容等、詳しくは、資料の⑤ページ以降をご覧ください。なお、調査対象が小学校5学年と中学校2学年の全児童生徒とありますが、調査への参加の有無につきましては、可能な範囲での参加ということですので、結果的に今年度の小田原市内の参加校は、小学校6校・中学校3校の参加となりました。本市の調査結果の概要としては、小学校男子は「上体起こし」「シャトルラン」「50M走」、女子は「50M走」で、国や県の平均値を上回りましたが、その他の種目および中学校は男女ともにすべての種目で国・県と比べやや下回っている結果となっております。次に、実施要領における結果の取扱いについてでございますが、全国学力学習状況調査とほとんど同様でございますが、文部科学省では「調査結果については、過度な競争につながらないようにすること、及び体力は個人の発育発達の状況が大きく関わっていることなどに十分配慮して、適切に取り扱うものとする」、「県教育委員会は、域内の市町村及び学校の状況について個々の市町村名・学校名を明らかにした公表は行わないこと」、「市町村教育委員会は、域内の学校の状況について個々の学校名を明らかにした公表は行わないこと」となっております。こうしたことから、昨年度までは全国学力学習状況調査と同様の取り扱いが妥当であるとのことから、数値結果については、公表しないという判断をしていただきました。しかしながら、その後、全国学力学習状況調査については小田原市全体の平均値の数値を公表することとしたため、体力運動能力調査の結果についても同様の取り扱いをしようとするものです。また、各学校の取扱いについては、各校の判断を尊重することとし、数値結果を今後の体力づくりのあり方を再考する材料としたり、家庭や地域との協力も推進していく必要性があるなど、体力向上の具体的な方策を考えるきっかけとなると考えております。以上で「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の取り扱いについて」の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願

いたします。

(質 疑)

桑原委員…6ページの調査校数の中で、公立学校と国立大学法人附属学校に分けてあるのは意味があるのでしょうか。

教育指導課長補佐兼指導主事…統計上であえて公立の小学校と国立の小学校にしているだけです。意図は特にございません。

山田委員…小学校が25校のうち6校、中学校が12校のうち3校ということで、参加校が少ないと感じましたが、教育委員会から学校側へ呼びかけ等はあるのでしょうか。

教育指導課長…基本的に国は、全校参加してほしいという、いわゆる最初の指示は悉皆調査でしたが、最初20年度の調査を依頼した時期が遅かったため、基本的には悉皆で行いたいようでしたが、希望参加になりました。学校側では年度途中からの参加は大変なため、実数が20年度も少なく、今年度も同様の状況となった経緯があります。

桑原委員…調査を受ける学校が少ないということは、活用されるのも少ないということでしょうか。また、具体的にこの調査結果をどのように活用するのでしょうか。

教育指導課長補佐兼指導主事…現実に文部科学省への数値の報告は、小学校6校と中学校3校ですが、小学校25校中22校、中学校は全校で実質的なテストを実施しております。各学校では、自校の子どもたちの体力の現状を把握しており、経年経過などを見ながら学校ごとに体力づくりの対策を検討しております。

和田委員長…表題の体力・運動能力は分かりますが、運動習慣とはどのように読み取るのでしょうか。

教育指導課長補佐兼指導主事…運動習慣の項目としては、地域のスポーツクラブに入っていますか、一日の運動時間はどれくらいですか、土日曜日にスポーツをしていますかなどの質問から、朝食は食べていますか、一日の睡眠時間はどれくらいですか、テレビの視聴時間はどれくらいですかなどを含めた習

慣を調査しております。この調査によって、体力がどれくらい高いか低い  
か、種目によってどうなのかなどを文部科学省では集計をしております。  
今回の資料にはありませんが、文部科学省のホームページで概要は公表さ  
れております。

(その他質疑・意見等なし)

採決…全員賛成により原案のとおり可決

(5) 報告事項(1) 平成22年度学校教育のねらいと基本方針について(教育指導  
課)

事務局説明…教育指導課長 資料1を基に説明

(質疑・意見等なし)

(6) 委員長閉会宣言



平成22年3月23日

委 員 長

署名委員（山田委員）

署名委員（桑原委員）